

公立大学法人島根県立大学 第4期中期目標の骨子案の主な取り組み

基本目標	<p>「県民本位・学生本位の大学」として、県立大学の目指すべき姿を「地域貢献・教育重視型大学」と位置付けて、大学改革を推し進める</p> <p>(1) 県民からの期待に応える存在意義の高い大学</p> <p>(2) 地域に貢献する人材を輩出する大学</p> <p>(3) 地域が抱える諸課題に対応する研究及び教育を重視する大学</p> <p>(4) 理事長のリーダーシップのもと機動的かつ戦略的な運営を行う大学</p> <p>※ 県（設立団体）の創生計画、国（中央教育審議会等）の議論の動向と、基本的な方向は同じであり、基本的に第3期計画を継承</p>
期間	令和7年（2025）4月1日～令和13年（2031）年3月31日
教育	<p>1. 県内入学者の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県内定着につながる県内入学率の向上に向けて、引き続き入試制度改革を推進 ○ 高大連携（接続）を強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門分野（教員・看護師等）の人材不足に対する県内高校と連携した取組 ・ サテライトキャンパス等を拠点とした高校生と大学生の交流など <p>2. 地域の要請、地域特性等を踏まえた学びの提供</p>
研究	<p>3. 研究実施体制等の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域貢献、大学教育への還元、若手研究者の育成を視野に入れた研究実施体制の充実 ○ 科研費等の競争的資金の獲得、自治体・企業等との共同研究を促進
地域貢献・国際交流	<p>4. 県内就職・地域貢献の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の担い手となる人材の県内定着のため、引き続き県内就職率の向上に取り組む ○ 学生が県内企業を知る機会の創出などキャリア支援の充実 ○ サテライトキャンパスを拠点とした地域教育、実践型教育を通じた地域貢献 <p>5. 国際交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学生の海外研修・留学の充実や、受け入れの双方向で海外交流の推進
運営	<p>6. ガバナンス体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 理事長（学長）のもとで、機動的かつ戦略的な大学運営を実現